

平成19年度和歌山県立中学校適性検査 作成の基本方針及び解答例

作成の基本方針

県立中学校での学習や生活への適性等をみるために、以下のア～ウを作成の基本方針とする。また、4校の共通問題とそれぞれの教育課程の特色等を踏まえた独自問題を作成する。

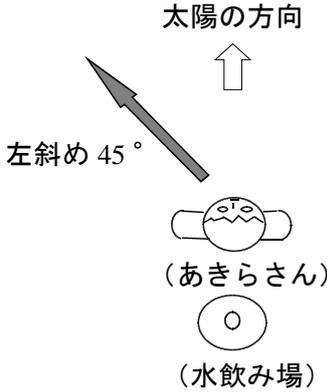
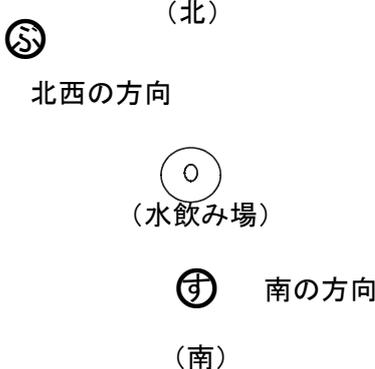
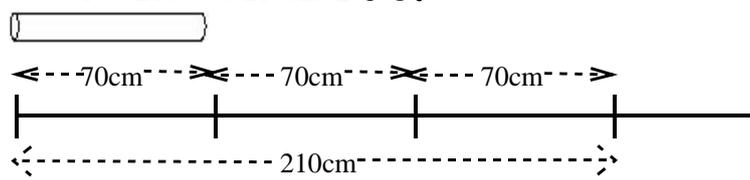
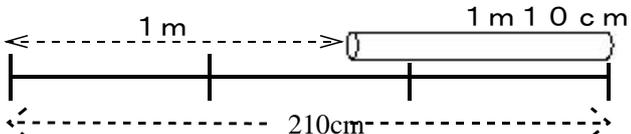
ア 小学校学習指導要領に基づき、作成する。

イ 小学校で学習した基礎的・基本的な内容をもとに、思考力、判断力、表現力等が身についているかどうかをみる。

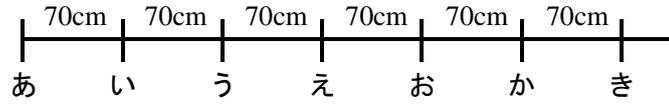
ウ 日ごろから身近な事象に関心をもち、そこで生じた疑問を自ら解決しようとする意欲や課題解決能力が身についているかどうかをみる。

【平成19年度 適性検査Ⅰ 解答例】

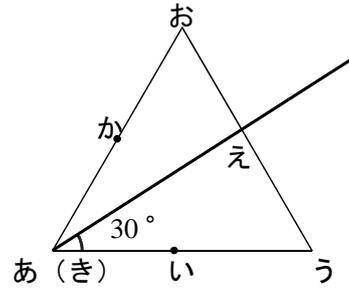
研究1	課題1	(例) 帰り道 夕日に染まる いちようたち
	課題2	(例) 私たちの通学路にいちよう並木があります。夕日に照らされた黄色いいちようの葉が、何とも言えない美しさで、下校する私たちを見送ってくれます。毎日見守ってくれるいちようの木々を友達のように感じ、「いちようたち」と表現しました。
研究2	課題	<p>1とお目 2回目○ 3回目○ 4回目× 5回目○ 2とお目 2回目○ 3回目× 4回目○ 5回目○</p> <p><考え方> (例)</p> <p>1回目もらえるのは $\frac{1}{3}$</p> <p>2回目もらえるのは $\frac{2}{3} \times \frac{1}{4} = \frac{2}{12} = \frac{1}{6}$ 残りは $\frac{1}{2}$</p> <p>3回目もらえるのは $\frac{1}{2} \times \frac{1}{5} = \frac{1}{10}$ 残りは $\frac{2}{5}$</p> <p>4回目もらえるのは $\frac{2}{5} \times \frac{1}{6} = \frac{1}{15}$</p> <p>5回目は残り全部だから、もとの $\frac{1}{3}$ になる。</p> <p>通分すると、もらえるカステラは、2回目 $\frac{5}{30}$</p> <p>3回目 $\frac{3}{30}$ 4回目 $\frac{2}{30}$ 5回目 $\frac{10}{30}$</p> <p>みどりさんがあきらさんより多くもらうには $\frac{15}{30}$ より多くなればよいのだから、みどりさんが(2回目、3回目、5回目)に</p> <p>勝つ場合 $\frac{5}{30} + \frac{3}{30} + \frac{10}{30} = \frac{18}{30}$、(2回目、4回目、5回目)に勝つ場合 $\frac{5}{30} + \frac{2}{30} + \frac{10}{30} = \frac{17}{30}$</p> <p>となり、あきらさんより多くもらえる。</p>
研究3	課題1	(例) ・高速道路が整備されて、遠くの送り先でも比較的短時間で運べるようになったから。 ・時間に関係なく、送り主から送り先まで直接運ぶことができるから。

	課題 2	<p>(例)</p> <p>鉄道による大量輸送との組み合わせによって、資源の節約につながり、二酸化炭素の量が減って、かん境へのえいきょうが少なくなる。</p> <p>(61字)</p>
研究 4	課題	<p>(例)</p> <p>ろうそくを近づけると、たがいのほのおの熱で上向きの空気の流れが大きくなるため、ほのおが長くなった。</p>
研究 5	課題 1	<p>太陽の方向</p>  <p>左斜め 45°</p> <p>(あきらさん)</p> <p>(水飲み場)</p>
	課題 2	<p>(北)</p>  <p>北西の方向</p> <p>(水飲み場)</p> <p>南の方向</p> <p>(南)</p>
研究 6	課題 1	<p>(例) 引いてある直線のはしから、70cm の棒を使って、3 回測ると、$70 \times 3 = 210$ で 210cm となる。</p>  <p>この 210cm の直線のはしから、1m10cm の棒を使って 110cm 分を除くと 1m になる。</p> 

課題2 (例) 70cm の棒を使ってロープのはしから 70cm ずつ測り、点あ から点き の印をつける。



点あ と点き を重ね、あう、うお、おき、が1辺となる正三角形を作る。



点あ と点え を結ぶと 30° の角度ができる。

【平成19年度 適性検査Ⅱ〔向陽中学校〕解答例】

研究1	課題1	[シ13]																																																	
	課題2	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>1枚目</td> <td>2枚目</td> <td>3枚目</td> <td>4枚目</td> </tr> <tr> <td>1とおとり目</td> <td>♣ 5</td> <td>♠ K</td> <td>♦ 6</td> <td>♦ 2</td> </tr> <tr> <td>2とおとり目</td> <td>♦ 2</td> <td>♠ K</td> <td>♦ 6</td> <td>♣ A</td> </tr> </table>		1枚目	2枚目	3枚目	4枚目	1とおとり目	♣ 5	♠ K	♦ 6	♦ 2	2とおとり目	♦ 2	♠ K	♦ 6	♣ A																																		
	1枚目	2枚目	3枚目	4枚目																																															
1とおとり目	♣ 5	♠ K	♦ 6	♦ 2																																															
2とおとり目	♦ 2	♠ K	♦ 6	♣ A																																															
研究2	課題	(例)																																																	
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">あきらの写真</th> <th style="width: 25%;">みどりの写真</th> <th style="width: 50%;">共通点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘチマ</td> <td>カボチャ</td> <td>花が、お花とめ花にわかれている。</td> </tr> <tr> <td>ヒマワリ</td> <td>タンポポ</td> <td>たくさんの小さな花が集まって、1つの大きな花をつくっている。</td> </tr> <tr> <td>ヘチマ</td> <td>アサガオ</td> <td>つるをのばして生長する。</td> </tr> </tbody> </table>	あきらの写真	みどりの写真	共通点	ヘチマ	カボチャ	花が、お花とめ花にわかれている。	ヒマワリ	タンポポ	たくさんの小さな花が集まって、1つの大きな花をつくっている。	ヘチマ	アサガオ	つるをのばして生長する。																																					
あきらの写真	みどりの写真	共通点																																																	
ヘチマ	カボチャ	花が、お花とめ花にわかれている。																																																	
ヒマワリ	タンポポ	たくさんの小さな花が集まって、1つの大きな花をつくっている。																																																	
ヘチマ	アサガオ	つるをのばして生長する。																																																	
研究3	課題1	<p><郵便料金> 140円</p> <p>(例)</p> <p>1とおとり目 20円6枚と5円3枚と3円1枚と1円2枚</p> <p>2とおとり目 20円6枚と5円2枚と3円3枚と1円1枚</p>																																																	
	課題2	<p><表すことのできない金額></p> <p>137円と139円と140円</p> <p><考え方></p> <p>(例) 1円から9円までをなるべく少ない枚数で表すと</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1円切手</th> <th>3円切手</th> <th>5円切手</th> <th>合計枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1円</td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>2円</td><td>2</td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>3円</td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>4円</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>5円</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>6円</td><td></td><td>2</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>7円</td><td>2</td><td></td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>8円</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>9円</td><td></td><td>3</td><td></td><td>3</td></tr> </tbody> </table>		1円切手	3円切手	5円切手	合計枚数	1円	1			1	2円	2			2	3円		1		1	4円	1	1		2	5円			1	1	6円		2		2	7円	2		1	3	8円		1	1	2	9円		3	
	1円切手	3円切手	5円切手	合計枚数																																															
1円	1			1																																															
2円	2			2																																															
3円		1		1																																															
4円	1	1		2																																															
5円			1	1																																															
6円		2		2																																															
7円	2		1	3																																															
8円		1	1	2																																															
9円		3		3																																															

		<p>1円から9円までを表すには、最高3枚の切手が必要である。</p> <p>120円は20円切手6枚で表せ、残り4枚までで1円から9円を表せるので121円から129円まで表せる。</p> <p>130円は20円切手6枚と5円切手2枚合計8枚使う。残り2枚では7円と9円は表せない、137円と139円は表せない。</p> <p>140円は20円切手6枚の120円の他に、4枚以内で20円が表せない。</p> <p>だから、表せない金額は137円と139円と140円</p>
研究4	課題1	<p>(例)</p> <p>全体の長さの差は</p> $105 - 73 = 32 \quad 32\text{cm 短くなる。}$ <p>このとき</p> $32 \div 4 = 8 \quad \text{となるので、たて置きに並べた長方形は8枚。}$ <p style="text-align: center;"><u>8 枚</u></p>
	課題2	<p>(例)</p> <p>横置きが8枚とすると、長方形は全体で16枚となり、このとき、$105 \div 16 = 6.5625$ で、整数とならないので問題にあわない。</p> <p>横置きが7枚とすると、長方形は全体で15枚となり、このとき、$105 \div 15 = 7$ で、整数となるので問題にあっている。</p> <p style="text-align: center;"><u>7 枚</u></p>
研究5	課題1	<p>(例)</p> <p><5～6つぶずつまく理由></p> <p>どの種も必ず発芽するとは限らないから。</p> <p><なえを減らさないでそのまま育てたときの予想の絵とその理由></p> <p>(絵) 1本のとくときと比べ、太くて大きなダイコンができない様子がかかれていれば正答とする。</p> <p>(理由) 根を伸ばす場所がせまいから。</p>
	課題2	<p>(例)</p> <p>大根おろしのしるをかけたごはん、しるをかけていないごはんを用意する。しばらく時間を置いたあと、それぞれにヨウ素液をつけて、色のちがいをみる。</p>